

街歩きヒストリア



戦後修復された鉄砲町の教会（写真提供：広島流川教会）

広島流川教会

上
幟
町

②4

創立以来 130 年余りの歴史を持つ、広島流川教会。1927 年には、上流川町(現在の鉄砲町)にゴシック様式の教会堂が建てられました。電車通りを挟んで三越北向かいの辺りです。

原爆投下の折には壊滅的な被害を受けましたが、1952 年には修復され「教会復興起工式」が行われています。現在地の上幟町に移ったのは、1971 年のことです。

クリスマスの音楽礼拝「メサイア」は、被爆 2 年後から始められ、市民の心に希望と救いを与え続けてきました。

(文・片山典子さん)

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。



現在の教会。上幟町に移転後 2013 年に建て替えられました。
(写真提供：広島流川教会)



※ 今年のメサイアは、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため中止です